

「フォーラム：『亡くした子どもの意志を継ぐ』を聴講して」へのコメント

記事を目にした方から、コメントをいただきましたので、ご覧下さい。

2006. 7. 24. 阿部幸泰

① FORUM 亡くした子どもの遺志を継ぐ（関わったすべての人とともに）「今の私に出来ること」 読ませて頂きました。

難治性痙攣脳症 恥ずかしながら、私はこの病名を始めて知りました。私が知らない、おそらく考えられない程難しい病気なのだと思います。

短い命と言われ、「1年かな～」と告知されても、涙を流す事よりも子供の為に前向きに必死に毎日を頑張ってこられた御母さんの思いが文章を読んでとても伝わってきました。

私がこの御母さんと同じ立場に立たされたら、この御母さんの様に頑張る事ができるのだろうか？

今何も頑張っていない自分に恥ずかしい想いです。

いっぺんには難しいですけど、私に出来る事を考え、見つけて勇気を出して、これからは頑張っていかなければと思いました。

②パネリストのお母さんの原稿、読みました。

心に響きました。

涙が出てきました。（最近、本当に涙もろくなってしまっています。）

たま～に、主人と話すことですが 家族は、年の順に死んだ方が良く、と

おじいさんが死んで、お婆さんが死んで お父さんが死んで、お母さんが死んで 子供達が・・・

HPを目にしたパネリストのお母さんからの感想。

【 なんと奥の深い、的を得たご感想となることに、すごいな～と思いました。】

「子どもを亡くしたことは、『終わり』ではなく『始まり』」、「それぞれの新しい生き方を模索する、そんな機会」として、今回は、私にとってとてもよかったと思います。

阿部さんから、私にとって、ぴったりのいい言葉をたくさん教えていただきました。

ありがとうございました。 】